

第12回 I S O E 運営委員会 出席報告

1. 月 日 2002年10月29日(火)～31日(木)
2. 場 所 O E C D 本部(パリ、フランス)
3. 出席者

[議長] Borut Breznik(NEK; Slovenia)

[幹部会メンバー]

Wolfgang Pfeffer(GRS; Germany), Carl Goran Lindvall(Barseback;
Sweden)

[I S O E 事務局]

Stefan Mundigl, Ted Lazo(OECD/NEA), Monica Gustafsson(IAEA),
Akihiro Fujimori(OECD/NEA)

[I S O E 技術センター]

Monica Gustafsson (IAEA Technical Centre;再掲),
Christian Lefaure, Lucie D'ascenzo (European Technical Centre; CEPN),
David W. Miller (North American Technical Centre; U of Illinois),
村田尚之, 尾形亜紀子 (Asia Technical Centre; NUPEC)

[主要参加者]

Kun-Woo Cho, Seong Ho Na (KINS; Korea), 山川英昭(原電),
他総勢約40名

4. 議事概要

2002年のISOE活動実績について、各技術センターおよび各国代表より報告された。ISOEソフトウェア開発WGより、データ入力用の最新ソフトウェアについて報告された。今後は、ソフトウェア上で欧州以外の言語でのインプットが可能となる。ICRP新勧告に関するワーキング・グループの準備状況について報告された。第1回会合は11月22日にスウェーデンで開催。

トピカル・セッションではDavis Besseで発生したVessel Head Replacement問題が取り上げられ、主に取替作業の被ばくの観点から仏国EDF及び北米技術センターのプレゼンテーションがなされた。

ISOEビューローメンバーが改選された。議長にMr. GAGNON, Jean-Yves(事業者側・カナダ) 副議長にDr. Seong Ho Na(規制者側・韓国KINS)が選出された。

ISOE事務局より、2003年のISOE活動計画案が示され、原案どおり承認された。次回会合は、2003年11月12日(水)～14日(金) ウィーンと決定された。